

つきたい力

- 自分の思いや考えを表現する力
- 問いを持ち、解決する力

取組みの概要・ポイント

- (1) つきたい力をもとにして学習計画を立てる
- (2) 問いを創り、解決する
- (3) 学びの系統性～国語の用語の定着～

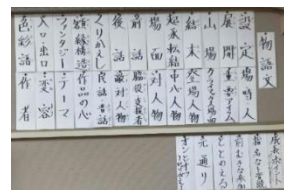
目指す子ども像「学びを創り出す子」にもとづく取組み

①児童の問いをもとにした国語の授業づくり

つきたい力と叙述をもとに、

- ・問いを創る
- ・問いと問いを関連付ける
- ・問いを分類する
- ・問いを精選する

問いをたてる→話し合う→問いを評価する



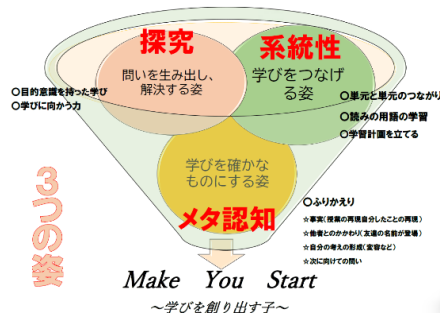
問いの連続

②問いを解決する

つきたい力と叙述をもとに、

- ・場面の様子を読み取る
- ・場面と場面のつながりを読み取る
- ・登場人物の気持ちや心情の変化を読み取る
- ・登場人物の相互関係の変化を読み取る

学びを創り出す子 3つの姿



南山田小学校の
取組みについて

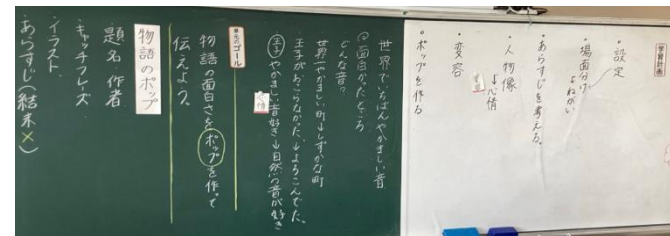


③読みの学習用語

- ・系統性を持たせる。全クラスで意識して用語を活用する。
- ・クラス掲示するなどして学習環境を整える。

④学習計画を立てる

- ・つきたい力をもとに、子どもと学習計画を創る



⑤ふりかえり～学びを確かなものへ～

- ・学びの過程（事実）
- ・自分の考えや友だちの考えについて
- ・問いの評価
- ・次への学びについて（次への問い）

取組みを通しての子どもの変容

- 学習用語を全クラスで統一することによって、系統性を意識した国語の授業づくりができるようになった。
- アンケート項目「学習計画を立てて、見通しや目的をもって学習を行っている」において、肯定的な回答が上昇した。81%（4月）→85%（12月）
- アンケート項目「国語の学習で学んだことを他の学習でもいかしている」において肯定的な回答が上昇した。79%（4月）→82%（12月）